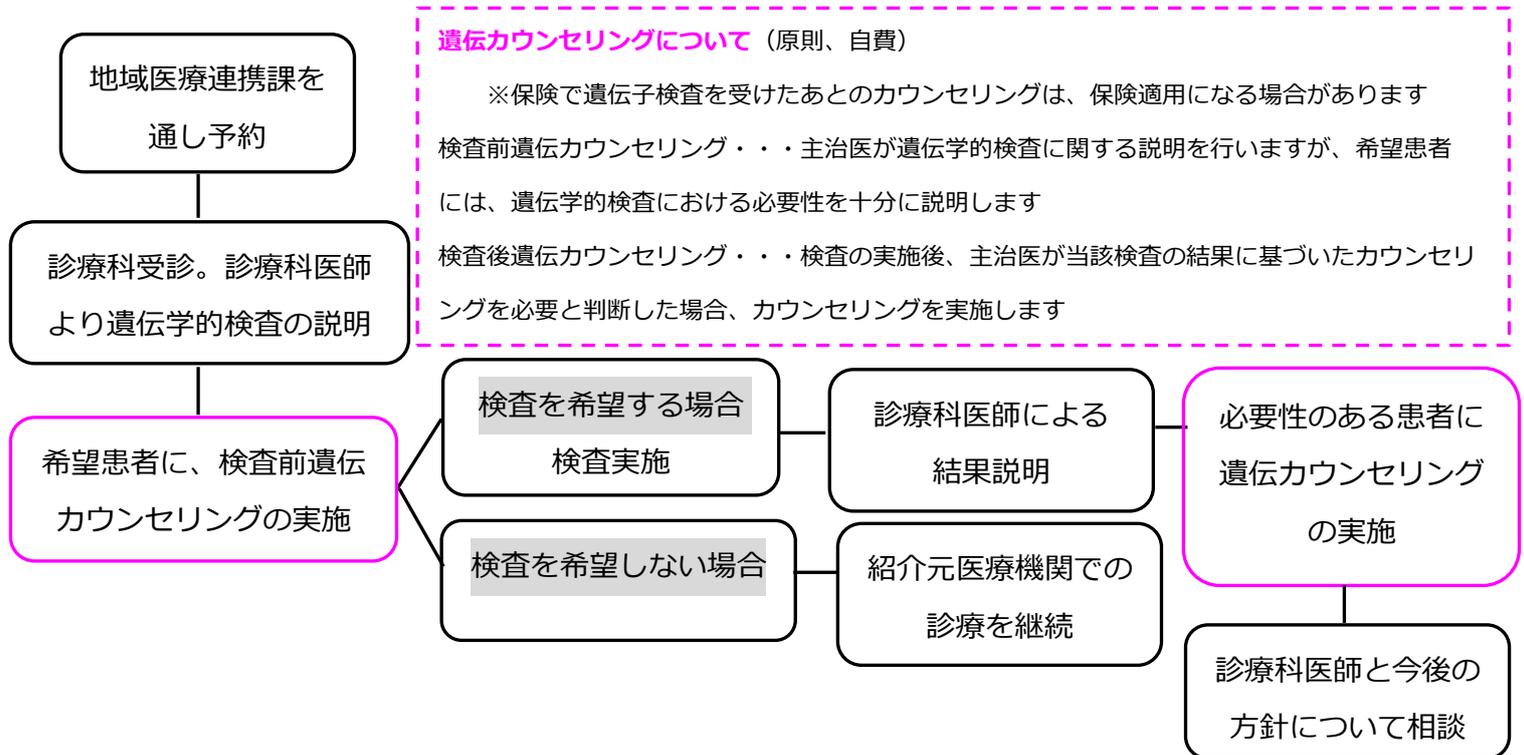




遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）診療を行っています

1.HBOC 疑い患者に対する紹介受け入れの流れ



2.遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）とは

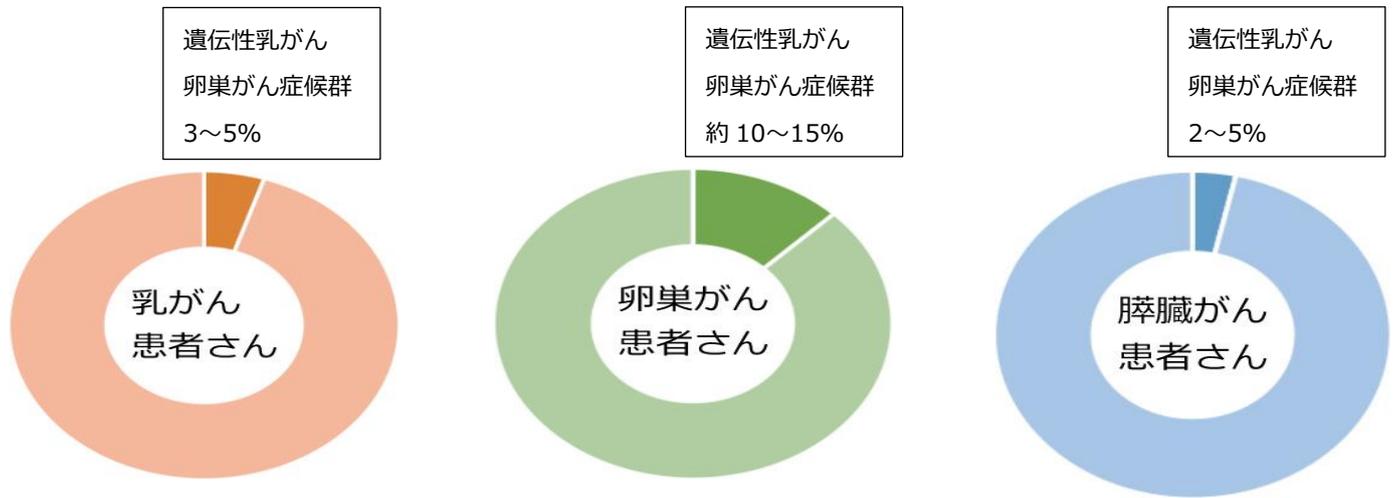
(HBOC : Hereditary Breast and Ovarian Cancer syndrome)

- 「遺伝性のがん」の種類の一つです。特定の遺伝子に生まれつき変化があり、それによってがん罹患しやすいこと（体質）を「遺伝性のがん」と総称します。
- BRCA1 遺伝子あるいは BRCA2 遺伝子に変化（専門用語で病的バリエーションと言います）を持っていると HBOC と診断されます。
- HBOC の方は、乳がん、卵巣がん、前立腺がん、膵臓がんなどの発症リスクが高いことがわかっているため、定期的な検査や予防的な手術が考慮されます。
- がんを発症していない人も含めて、一般的に、200～500 人に 1 人が HBOC に該当すると言われていいます。
- これらの遺伝子の変化は、ご自身に留まらずご家族にも引き継がれる可能性があるため、ご家族のフォローも求められます。



主ながんにおける HBOC の割合

【出典：日本 HBOC コンソーシアムより抜粋】



3.HBOC の診療の現状と遺伝カウンセリング

2020年4月には、これまで自費診療だった HBOC 診療の一部（がんではない状態の乳房などを切除する「リスク低減切除手術」）が保険適用となりました。加えて昨今の卵巣がん、乳がん、前立腺がん、膵臓がんの治療の過程で新たな薬の適応を探るために BRCA1/2 遺伝子検査が必要となるなど、診断機会の増加に伴い HBOC と診断される患者さんの数は今後増加することが予想されます。

また当院では、遺伝カウンセリングを必要とする患者に対し、臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングの体制を整えております。

4. BRCA1/2 遺伝子検査が保険適応となる場合

HBOC 診断目的	
①	乳がん患者 45 歳以下の乳がん・60 歳以下のトリプルネガティブ乳がん・両側乳がん・片方の乳房に複数回乳がん（原発性）・男性乳がん・第三度近親者内に乳がんまたは卵巣癌発症者がいる
②	卵巣がん・卵管がん・腹膜がん患者
③	腫瘍組織によるがん遺伝子検査の結果、BRCA 1/2 遺伝子の生殖細胞系列の病的バリエーションを持っている可能性がある場合
コンパニオン検査（オラパリブの治療が検討される患者）	
①	化学療法歴のある HER2 陰性で、手術不能または再発乳がん患者
②	卵巣がん・卵管がん・腹膜がん患者
③	転移性去勢抵抗性前立腺がん患者
④	治療切除不能、再発膵臓がん患者

※未発症者の検査に関しましては、保険適用外となっております。電話にてご相談ください。

紹介先 【地域医療連携課】



renkei@fukui-med.jrc.or.jp



0776-36-4110



0776-36-0240